施工説明書

TOTO

台付シングル混合水栓（ハンドシャワータイプ）

TKN34PBT型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

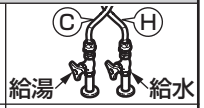
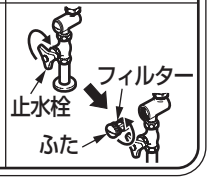
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

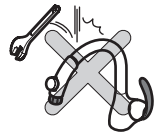
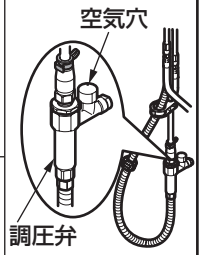
⚠ 警　告

禁　止	**湯水を逆に配管しない** 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓または元栓を確実に閉めてから行う** **また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する** 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 警　告

禁　止	寒冷地用 **水抜コックは水抜き以外の目的で開けない** 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**必ず調圧弁を取り付ける** **また、空気穴を塞がない** シャワーホース内の水圧が高くなり完全に水が止まらないため、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	調圧弁は空気穴が真上を向くように設置する 傾いていると、内部の機構が正常に作動せず、水漏れなど予想しない事故の原因になります。	
	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く **また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う** 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

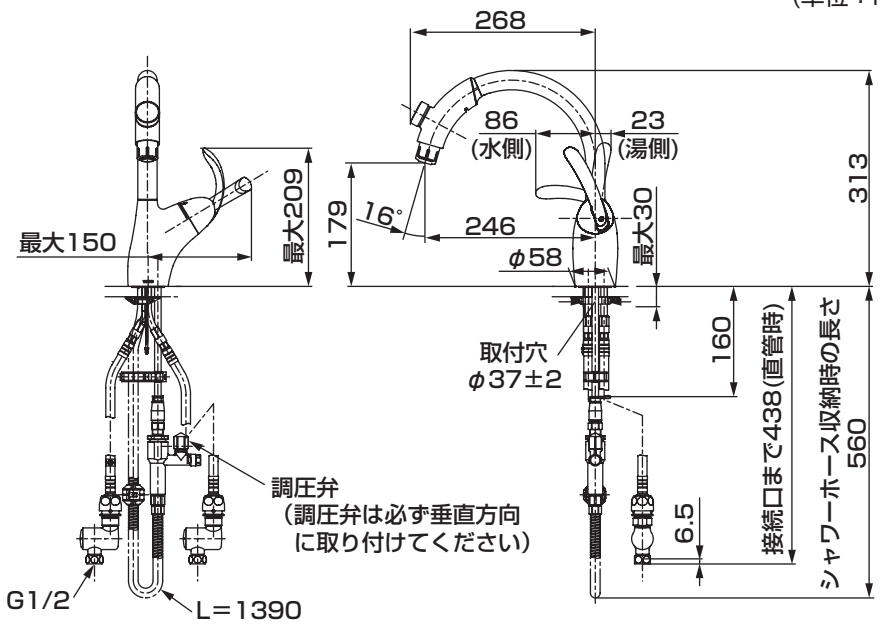
2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅台所用

3 完成図

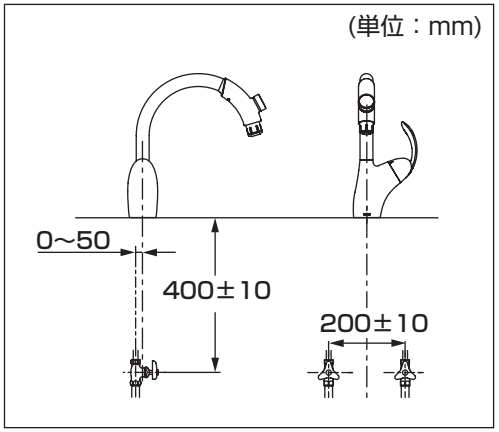
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

(単位：mm)



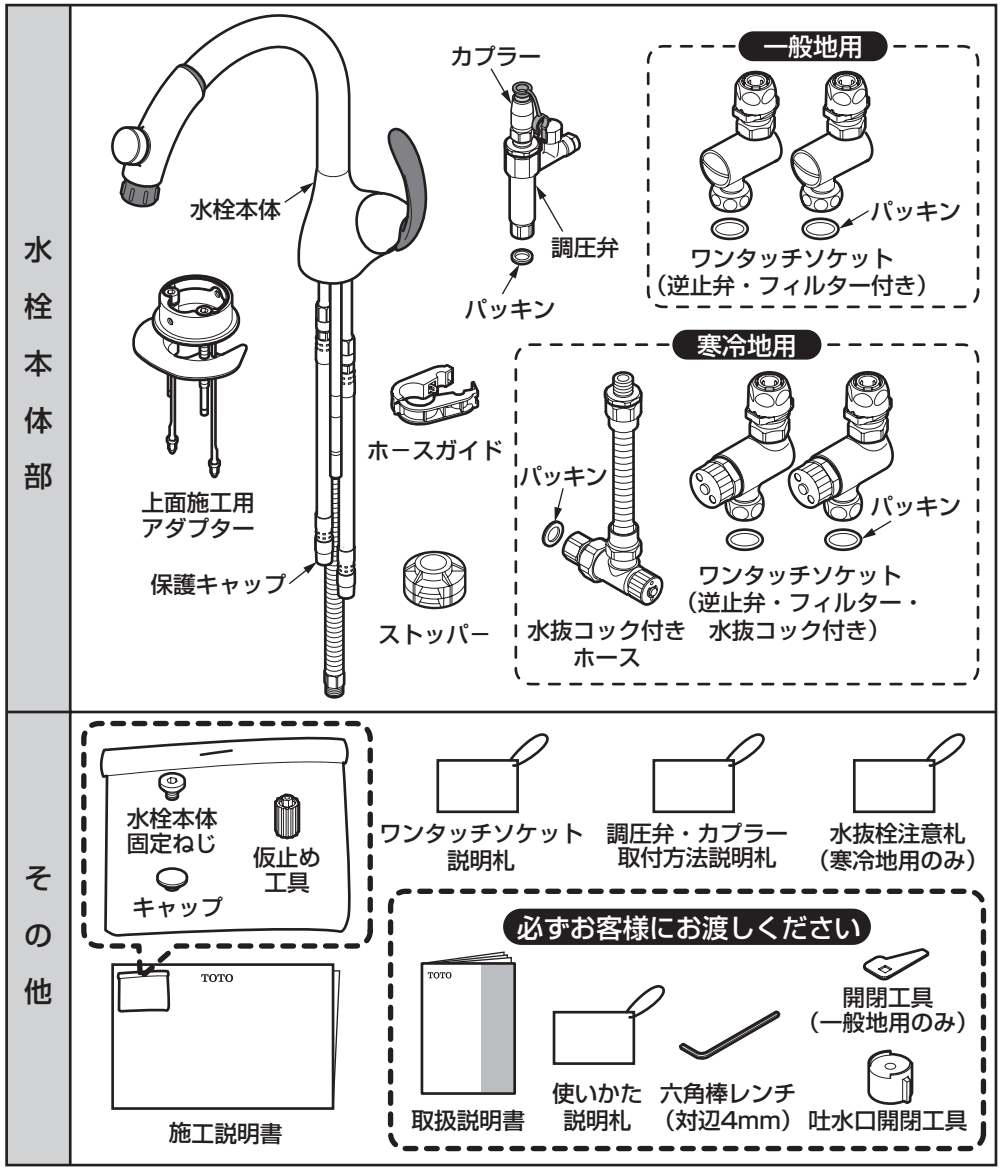
4 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
  快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
  また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
  下図に示す範囲内の止水栓位置が標準施工位置です。



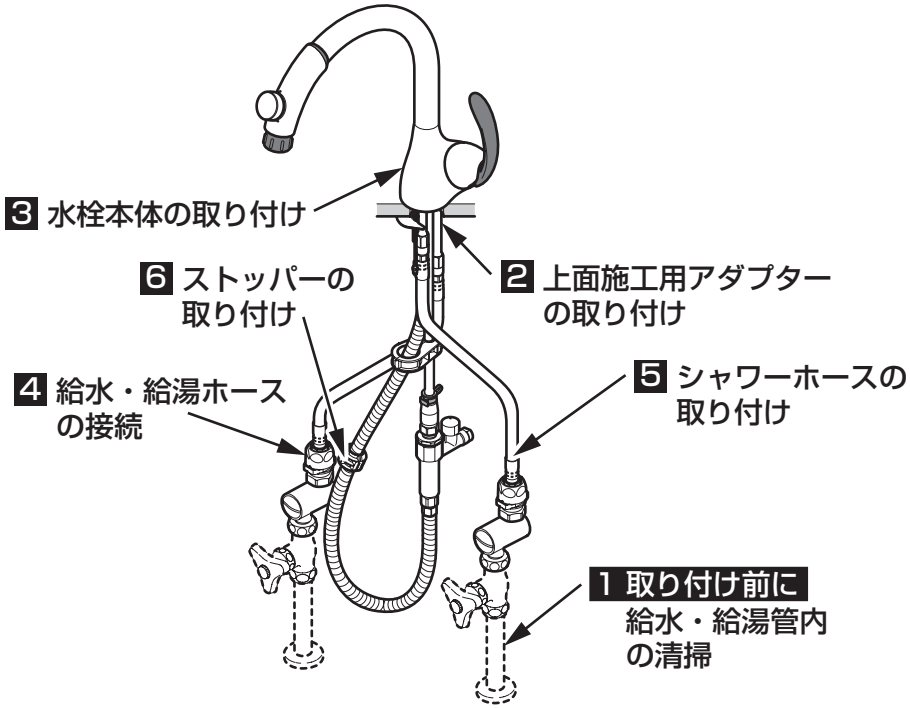
5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6-1 施工手順



※水栓本体のTOTOマークが水栓本体の「正面」です。

1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

重要

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。
①吐水量が少ない
②温度調節がうまくできない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

2 上面施工用アダプターの取り付け

上面施工用アダプター施工上の注意点

- ●上面施工用アダプターは、正しく取り付けてください。
  カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ●ステンレス製カウンターで補強板がない場合は固めの補強板（合板など）を取り付けてください。
- ●補強板が十分乾燥した状態で取り付けてください。
- ●補強板に湿り気がある場合は水気をふき取りドライヤーで乾かしてください。
- ●取付面に養生シートなどがあれば取り除いてください。
- ●取付可能なカウンター穴径はφ35～φ39です。

①ボルト・座金（2本）を外して固定金具を取付穴に挿入する。

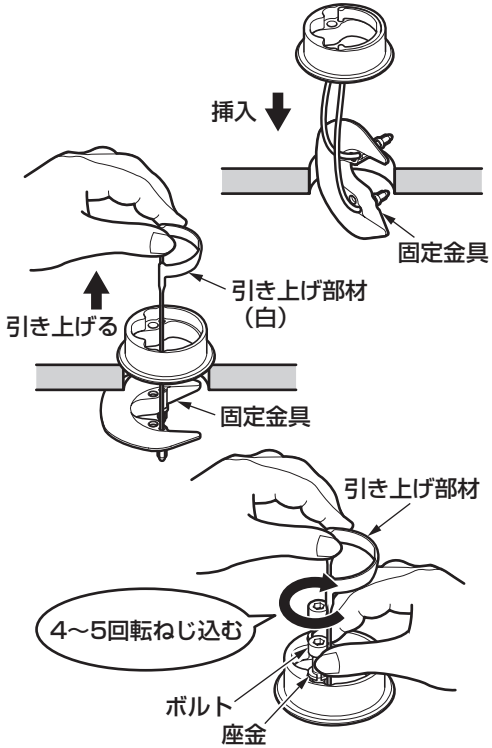
②上面施工用アダプターの方向をあわせ、固定金具が当たるまで引き上げ部材を引き上げる。

注 意

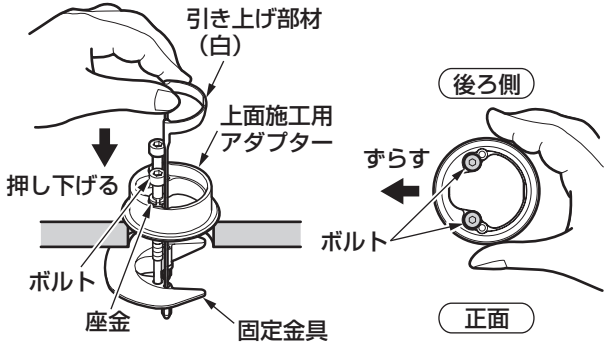
上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。

③引き上げ部材を引き上げたまま、ボルト・座金（2本）を固定金具に通し、手締めで4～5回転ねじ込む。

※④位置調整のため、最後までねじ込まないでください。



④引き上げ部材・ボルト・座金（2本）を押し下げ、上面施工用アダプターをボルトの方向に当たるまでずらす。



⑤ボルトに六角棒レンチを縦に差し込み、2本のボルトを交互に強く締め付ける。

⑥さらに六角棒レンチを横にして2本のボルトを交互にしっかり締め付け、確実に固定する。

注 意

2本のボルトがどちらも回らなくなるまで締め付けてください。

3-1 水栓本体の取り付け

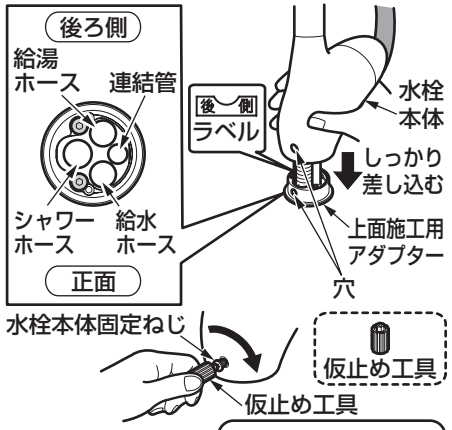
①先にシャワーホースを上面施工用アダプターに通し、給水・給湯ホースを通す。

②水栓本体の後ろ側と上面施工用アダプターの「後側ラベル」をあわせるようにしっかり差し込む。

注 意

- **●ホースは交差しないようにそろえて挿入してください。**
- **●水栓本体に浮きがないよう注意してください。**
- **●差し込みにくい場合は水栓本体を左右にゆすりながら入れてください。**

③水栓本体固定ねじを仮止め工具で仮固定する。



裏面へつづく

3-2 水栓本体の取り付け（つづき）

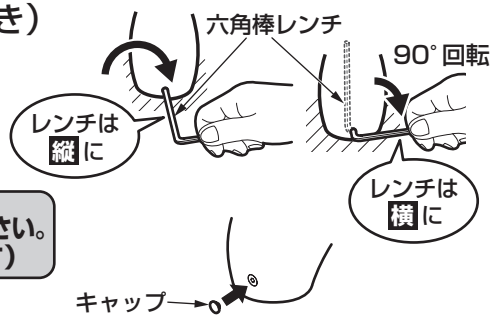
④六角棒レンチの縦方向で、回らなくなるまで締め付ける。

⑤六角棒レンチの横方向で、約90°回して確実に締め付ける。

注 意

80mm以上のレンチを使用しないでください。（ねじ部が破損するおそれがあります）

⑥穴にキャップを押し込む。

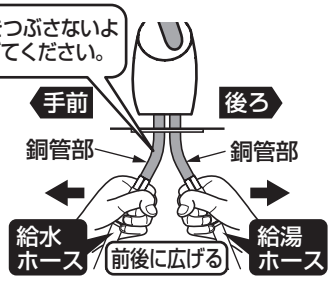


4 給水・給湯ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

注 意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。
そのままでもホースを差し込めます。

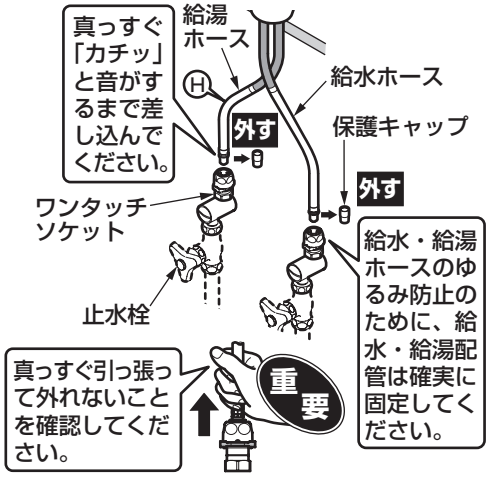


②銅管部を広げ、ホースを差し込みやすくする。

③給水・給湯ホースの保護キャップを取り外して 異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットに 真っすぐ奥まで（「カチッ」と音がするまで）確実に差し込む。
確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。

④ホースを 真っすぐ引っ張って外れない（抜けない） ことを必ず確認する。



施工後、万一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。

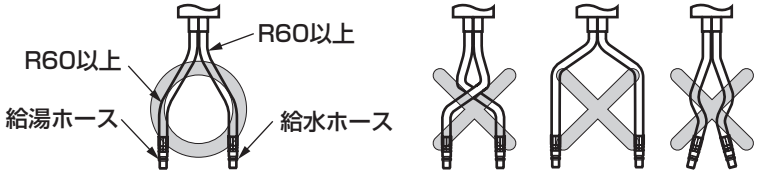
給水・給湯ホース施工上の注意点

●ホースを 必要以上の力で曲げて 折らないように 注意してください。
ホースの 最小曲げ半径は60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。

●ホースを 水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで ください。

●ホースを 無理に引っ張らないで ください。ホースが折れる可能性があります。

●ホース同士の 不要な接触は避けて ください。
外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



5-1 シャワーホースの取り付け

一般地用の場合

①調圧弁側の袋ナットを回してシャワーホースに調圧弁を接続する。

②連結管に異物の付着がないことを確認し、カプラーを連結管にそれ以上差し込めなくなるまで真っすぐ奥まで差し込む。

止め輪がセットされている状態では通水管は差し込めません。止め輪を外してから通水管に差し込んでください。

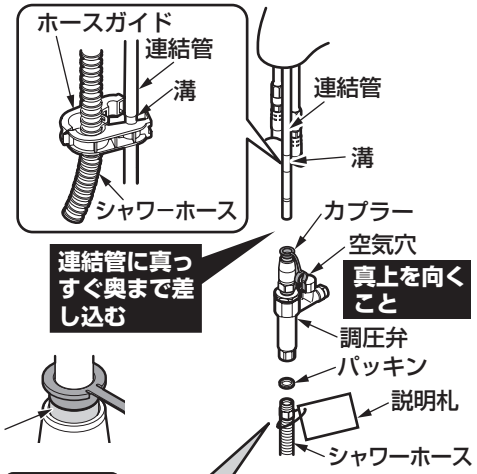
グリーンのスリーブが見えること。見えない場合は見えるまでカプラーを真っすぐに奥まで差し込んでください。 重要

※この際、同梱の「調圧弁・カプラー取付方法」の説明札を必ずホースに通してください。

③つばの下に止め輪を横から入れる。

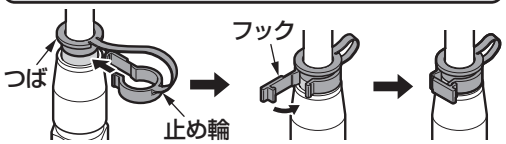
④止め輪のフックをかける。

⑤ホースガイドにシャワーホースが通るようにしてホースガイドを連結管の上側の溝にしっかり取り付ける。



注 意

接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。ホース内部がねじれて、破損するおそれがあります。



5-2 シャワーホースの取り付け（つづき）

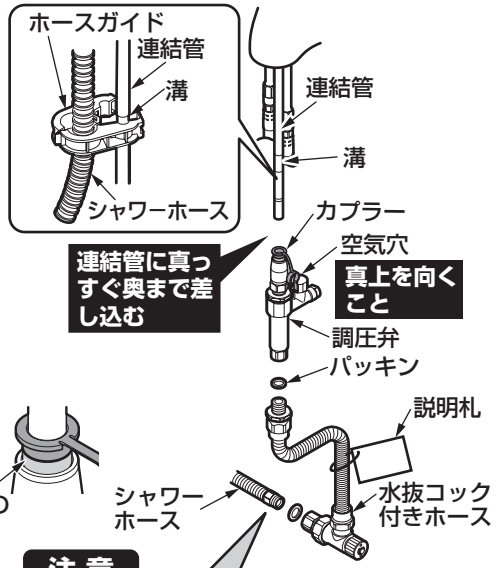
寒冷地用の場合

①調圧弁の袋ナットを回して、水抜コック付きホースをシャワーホースに接続する。

②シャワーホースに水抜栓を接続する。

③連結管に異物の付着がないことを確認し、カプラーを連結管にそれ以上差し込めなくなるまで真っすぐ奥まで差し込む。

止め輪がセットされている状態では通水管は差し込めません。止め輪を外してから通水管に差し込んでください。



重要 グリーンのスリーブが見えること。見えない場合は見えるまでカプラーを真っすぐに奥まで差し込んでください。

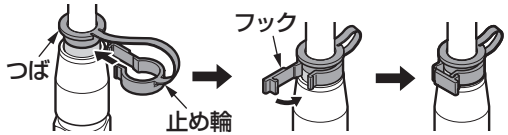
※この際、同梱の「調圧弁・カプラー取付方法」の説明札を必ずシャワーホースに通してください。

注意 接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。ホース内部がねじれて、破損するおそれがあります。

④つばの下に止め輪を横から入れる。

⑤止め輪のフックをかける。

⑥ホースガイドにシャワーホースが通るようにしてホースガイドを連結管の上側の溝にしっかり取り付ける。



＜取り外し方法＞

作業前には、レバーハンドルが閉じていることを確認してください。

①フックを外す。

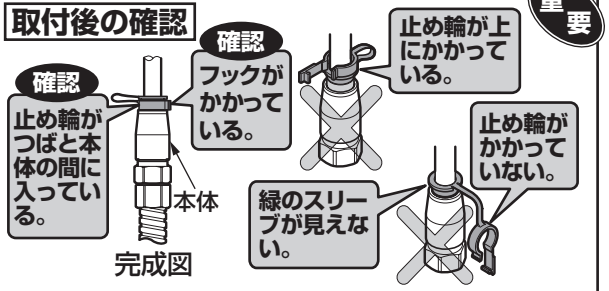
②止め輪を外す。

③つばを本体（金属）まで押し下げる。

④つばを押し下げたまま、カプラーを下に引き抜く。

取付後の確認

重要



施工後完成図どおりになっていることを確認ください。正しく施工していないと、しばらくして水漏れが発生することがあります。

注意

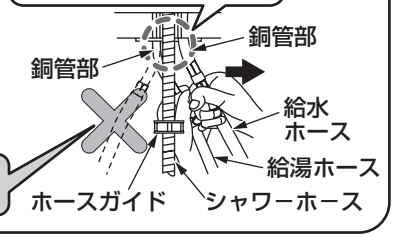
- **パッキンが入っていることを確認してください。**
- **異物の付着がないことを確認してください。**
- **必ず調圧弁を取り付けてください。**
  調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。
- **調圧弁は空気穴が真上を向くように設置してください。**
  また、引き出しなどに調圧弁が当たらないことを確認してください。
  傾いていると、内部の機構が正常に作動せず、水漏れなど予想しない事故の原因になります。
- **水抜栓の取り付け方向に注意してください。**

シャワーホース施工上の注意点

重要

ハンドシャワーを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。

シャワーホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯ホースがシャワーホースを押さえ込まないように、給水・給湯ホースの銅管部を曲げて施工してください。
また、ホースガイドは必ず取り付けてください。

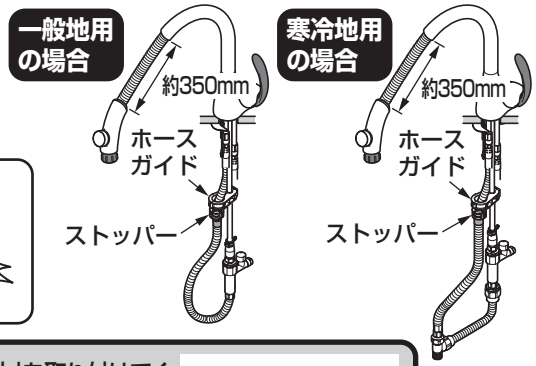


注意 給水・給湯ホースの銅管部を左側へ曲げないでください。

6 ストッパーの取り付け

ストッパーをラベルの位置（下図参照）に「カチッ」とはめ込む。
※シャワーホースの引き出し長さは、約350mmになります。

〈ストッパーの取付方法〉



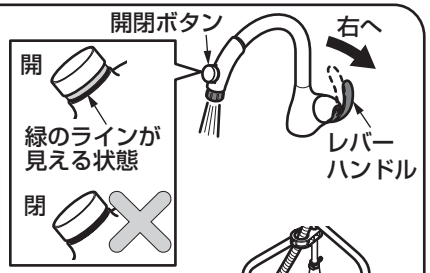
施工完了後、ハンドシャワーに「使いかた説明札」を取り付けてください。また、お客様にもご使用方法を十分にご説明願います。
（詳しくは、取扱説明書の「使いかた」を参照してください）

7 施工後の調節

1.水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、ハンドシャワーから水が出るか確認してください。
①配管部の元栓を開ける。②レバーハンドルを上げる。
③開閉ボタンを押す。※水が出ます。

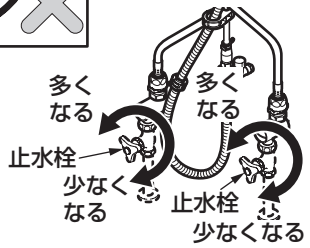
給水圧が高い場所では温度調節をする際、ハンドル操作が固くなるおそれがあります。
その場合は、止水栓で流量を絞ってご使用ください。



止水栓による流量調節

配管にある止水栓を回す。

止水栓の調節にマイナスドライバーなどが必要な場合があります。



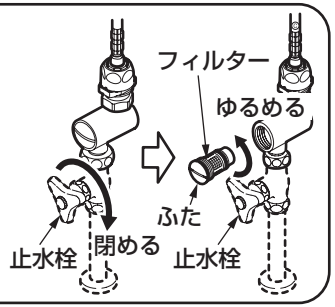
2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず止水栓または元栓を確実に閉めてから行ってください。
また、湯側フィルター部が熱くないことを確認してください。

また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。
(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



8 使用上の注意

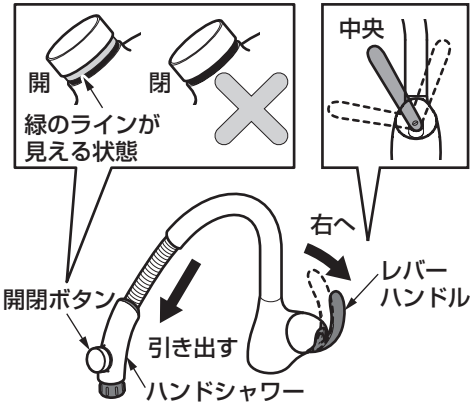
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、故障ではありません。
お客様に十分にご説明ください。

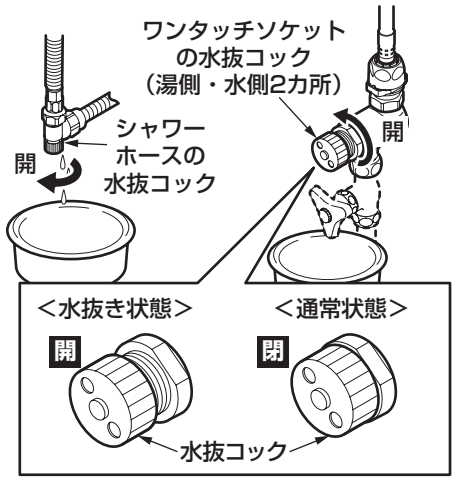
現　象	説　明
流水音が大きいと感じる。	水圧が高いことや使用流量が多いことにより発生することが考えられます。流量を絞ることで流水音を低減できます。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

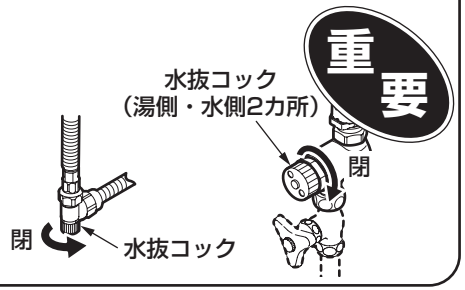
9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 開閉ボタンが"開"の状態になっていることを確認する。
2. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
3. レバーハンドルを中央位置で右に動かす。
4. ハンドシャワーをストップするまで引き出す。
5. シャワーホースの水抜コックの下に水受け容器(洗面器など)を用意し、シャワーホースの水抜コックを開ける。
6. ワンタッチソケットの水抜コックの下に水受け容器（洗面器など）を用意し、ワンタッチソケットの水抜コック（2カ所）を反時計回りに止まるまで回す。
7. ハンドシャワーを持ち上げ、ホース内の水を抜いたあと、よく振って水を切ってからシンクの底に置く。
8. 水抜き完了後は、必ず水抜コック（3カ所）を確実に閉め、レバーハンドルを左に動かす。(水が出ない状態)

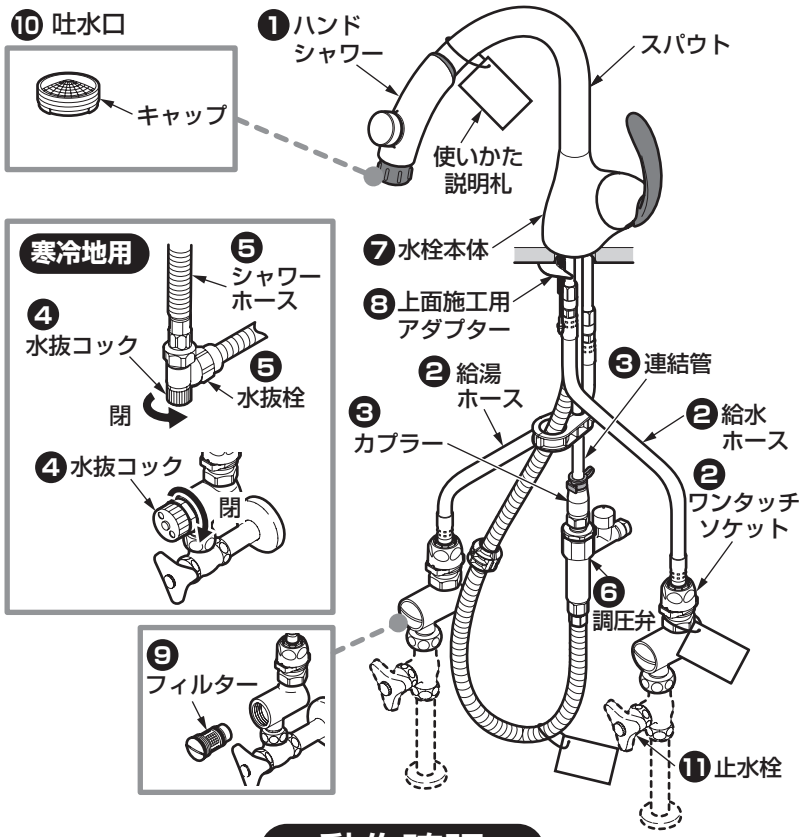






10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



動作確認

ハンドシャワーの動作を確認してください。

❶ハンドシャワーはスムーズに引き出し、および収納はできますか？

→ 6-4 ― 6「ストッパーの取り付け」参照

→ シャワーホースが止水栓などに干渉していないか確認する。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❷給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

→ 6-3 ― 4「給水・給湯ホースの接続」参照

❸カプラーは連結管にしっかり差し込まれていますか？

→ 6-3 ― 5「シャワーホースの取り付け」参照

寒冷地用の場合

❹水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

→ 水抜コックを閉める。

❺シャワーホースは水抜栓にしっかり接続されていますか？

→ 6-3 ― 5「シャワーホースの取り付け」参照

調圧弁の確認

調圧弁が傾いていないか確認してください。

❻ ・空気穴が真上を向いていますか？
・ハンドシャワーをストッパーが当るまで引き出した状態で、調圧弁が傾いていませんか？
・調圧弁が引き出しなどに干渉していませんか？

→ 6-3 ― 5「シャワーホースの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❼水栓本体の固定ねじのゆるみはないですか？

→ 6-2 ― 3「水栓本体の取り付け」参照

❽上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

→ 6-2 ― 2「上面施工用アダプターの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❾フィルターのごみ詰まりはないですか？

→ 7 ― 2. フィルターの掃除

❿吐水口のごみ詰まりはないですか？

→ 吐水口の掃除をする。

⑪止水栓は開いていますか？

→ 7 ― 1. 水出し確認 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。